

1. 科目名 (単位数)	音楽 (幼) (2単位)	3. 科目番号	SJMP1140						
2. 授業担当教員	松本 岳志								
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	特になし								
7. 講義概要	保育における音楽活動の指導で求められる知識, 技術を身につけ, 理解を深める。保育現場では歌唱指導はもちろん合奏指導, リズム活動など様々な音楽活動やその指導において鍵盤楽器が使用されるため, それなりの演奏技術を身につけなければならない。具体的には「音楽」では子どもの歌を歌うのに必要な発声法, ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌唱指導する能力を習得する。また, これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。</li> <li>2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。</li> <li>3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができる。</li> <li>4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回楽典の練習問題とピアノの練習課題等を出します。</li> <li>2. ピアノ演奏および弾き歌いの発表を実施します。</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】・岡村弘・二宮紀子・杉原由利子『これだけは歌って弾こう・子どもの歌厳選 50 曲』共同音楽出版社</p> <p>【参考書】・小林美実・井戸秀和『いろんな伴奏で弾ける選曲こどものうた 100』チャイルド本社。 ・小林美実監修『こどものうた 200』チャイルド本社。 ・小林美実監修『続こどものうた 200』チャイルド本社。</p> <p>【教材】 ※各自で必ず購入しておくこと。 ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が 3.5mm ジャックの場合, ステレオ変換ジャックが必要)</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。</li> <li>2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。</li> <li>3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができるか。</li> <li>4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができるか。 1</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか, 本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%	2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%	3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%
1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%								
2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%								
3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%								
12. 受講生へのメッセージ	ピアノ演奏や歌唱のような実技は, 一夜漬けで習得できるようなものではなく毎日地道に練習を積み重ねていくことが重要です。必ず, 短時間でも構わないので「毎日」ピアノに触れるよう心がけて下さい。短期間で基礎的技術を身に付けるためには, 単調な指の訓練も必要となりますが, そうした練習は退屈なものに思われてしまいます。しかし, そうした練習も楽しんで弾くのが「音楽」であり, それを乗り越えた先に真に演奏することの楽しさがあると考えて下さい。								
13. オフィスアワー	初回授業のオリエンテーションにおいて通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 楽典① (五線・音部記号・大譜表・音名と階名)	事前学習	楽典①の箇所を予習しておく。						
		事後学習	楽典①の内容を復習する。ピアノの個人練習を始める。						
第 2 回	ピアノ演奏および弾き歌い① 楽典② (変化記号)	事前学習	楽典①の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
		事後学習	楽典②の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
第 3 回	ピアノ演奏および弾き歌い② 楽典③ (音符と休符)	事前学習	楽典②の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
		事後学習	楽典③の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
第 4 回	ピアノ演奏および弾き歌い③ 楽典④ (拍子記号・単純拍子)	事前学習	楽典③の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
		事後学習	楽典④の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
第 5 回	ピアノ演奏および弾き歌い④ 楽典⑤ (複合拍子)	事前学習	楽典④の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						
		事後学習	楽典⑤の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。						

第6回	ピアノ演奏および弾き歌い⑤ 楽典⑥（強起と弱起、連符）	事前学習	楽典⑤の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑥の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第7回	ピアノ演奏および弾き歌い⑥ 楽典⑦（速度記号、リズム）	事前学習	楽典⑥の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑦の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第8回	ピアノ演奏および弾き歌い⑦ 楽典⑧（反復記号）	事前学習	楽典⑦の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑧の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第9回	ピアノ演奏および弾き歌い⑧ 楽典⑨（強弱記号、発想記号）	事前学習	楽典⑧の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑨の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第10回	ピアノ演奏および弾き歌い⑨ 楽典⑩（奏法記号）	事前学習	楽典⑨の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑩の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第11回	ピアノ演奏および弾き歌い⑩ 楽典⑪（音階・長音階と短音階）	事前学習	楽典⑩の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑪の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第12回	ピアノ演奏および弾き歌い⑪ 楽典⑫（調号）	事前学習	楽典⑪の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑫の内容を復習する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第13回	ピアノ演奏および弾き歌い⑫ 楽典⑬（移調と転調）	事前学習	楽典⑫の内容を理解する。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
		事後学習	楽典⑬の内容を復習する。楽典の小テストに向けて、ここまで学んだことを総復習しておく。ピアノ課題曲を弾けるようになるよう毎日練習する。
第14回	バイエルの発表 楽典の小テスト	事前学習	楽典の小テストに向けて、総復習をしておく。事前に指定されたバイエルの曲を弾けるように毎日練習する。
		事後学習	ピアノ演奏技術向上のため、継続してバイエルの練習を行う。
第15回	弾き歌いの発表	事前学習	事前に指定された弾き歌いの曲を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	弾き歌い演奏技術向上のため、継続して弾き歌いの練習を行う。